

基地政策部長に緊急の要請書を提出。(2020. 7.16)



**相変わらず猛威をふるう
新型コロナウイルスの拡大**
に、市民は不安を募らせて
いる。沖縄の基地では先週
来、大量の新規感染者が生
じ、大量の新規感染者が生
じた米国家族が新型コロ
ナウイルスに感染して
いた事
実が公表
された。
米国家
族3人は
初田でP
CR検査
を受けた
が結果を
待たず岩
国基地に
向かった。
本来、

米軍側の情報不足で市民の不安募るばかり
米軍関係者は日本到着後2
週間の行動制限があり、公
共交通機関は使えないこと
になっているが、彼らにこ
のルールを破り「岩国へは
レンタカーを使う」と嘘の
申告を言っており、岩国側
空港経由で岩国入りした。
それにしても日米地位協
定で特別な扱いを受けてい
る米軍関係者が、この上倍
類を越えるようなルール破
りを行っていることは到底
許せない、ついこの間まで
日本側からの感染を恐れ、
義務教育である小中学生の
登校制限までした同じ米軍
のやることである。
この事態を知った河野外
務大臣は「極めてゆめしき

岩国基地 新型コロナが蔓延
米から帰国した家族3人が感染
検査で1人の申告なし
緊急事態宣言から岩国入り

岩国基地 新型コロナが蔓延



☆発行所☆
おはよう愛宕山編集局
〒111-0051
東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL 31-3383
郵便番号 01510-0-10088
おはよう愛宕山新聞社



市民の安全・安心脅かす 米軍の事態を糾弾!
7月16日、この度の岩国基地のコロナ問題で筆者がかかわる「あたごやま平和研究所」も、他の市民団体と連名で岩国市を訪問、岩国市長への緊急の要請を行

った。要請では先週「たむら」突然明らかになった「一昨年12月に高知県沖に墜落した空軍給油機の事故について、防衛省の補助事業で3億6000万円がけ、新しい施設を作る計画がある。事業は今年が設計、来年度で建物を造り、令和4年に完成予定だ。」
今回のコロナ騒ぎに全く無関係で、要請に関する質問に、市長選挙の応援に行き、その殆ど具体的な答えが戻らず、消化不良の行動だった。例えは兵士は岩国基地に帰ったと伝えられても、それが基地のどこに帰ったのかは公表されず、全ては米軍側のベール。住居区域も川下の基地内もあれば、岩山にも住宅がある。市内にはYナンバーの車も、避難施設も防衛が作る。岩国でも防衛局の主導でこの平穏を切り裂くコロナ迷惑は当然続きそうだ。
ともかく、このコロナ禍では、防衛局が公用車まで出して市長一行を現地に送り送った。岩国港での漁業復興といっても現実には厳しい。今回3億6000万円もかけて作る橋は、施設は読谷村の例で見れば、新築な魚も買える市場のような施設を考えているようだ。



岩国基地ではさらに関西空港に到着して基地に帰った一人がコロナで発症がわかったがこれは陰性だった。しかし沖縄でも米軍基地の感染者が激増しており、7月16日現在で38人が出ているという。こうした状況を危惧した玉城沖縄県知事は15日、河野外務大臣に会い政府の対応に迫った。

岩国基地では先週「たむら」突然明らかになった「一昨年12月に高知県沖に墜落した空軍給油機の事故について、防衛省の補助事業で3億6000万円がけ、新しい施設を作る計画がある。事業は今年が設計、来年度で建物を造り、令和4年に完成予定だ。」
今回のコロナ騒ぎに全く無関係で、要請に関する質問に、市長選挙の応援に行き、その殆ど具体的な答えが戻らず、消化不良の行動だった。例えは兵士は岩国基地に帰ったと伝えられても、それが基地のどこに帰ったのかは公表されず、全ては米軍側のベール。住居区域も川下の基地内もあれば、岩山にも住宅がある。市内にはYナンバーの車も、避難施設も防衛が作る。岩国でも防衛局の主導でこの平穏を切り裂くコロナ迷惑は当然続きそうだ。
ともかく、このコロナ禍では、防衛局が公用車まで出して市長一行を現地に送り送った。岩国港での漁業復興といっても現実には厳しい。今回3億6000万円もかけて作る橋は、施設は読谷村の例で見れば、新築な魚も買える市場のような施設を考えているようだ。